

記者資料提供（平成 28 年 9 月 29 日）

公立大学法人 神戸市外国語大学経営企画グループ広報班

木原、鷺尾

TEL : 078-794-8104 FAX : 078-792-9020 E-mail : announce@office.kobe-cufs.ac.jp

神戸市外国語大学が、日本初の「模擬国連世界大会」を開催します

神戸市外国語大学は、今年で創立 70 周年を迎えました。創立 70 周年記念事業として 11 月に日本で初めて「模擬国連世界大会」を開催し、神戸市外国語大学及び神戸市の魅力を世界に向けて発信していきます。

1. 開催の背景

平成 28 年の大学創立 70 周年の記念事業としてふさわしいとの考えから、平成 26 年 3 月にプロポーザルを提出し、主催団体の現地視察も経て、世界の複数の有力な大学が競合する中で、平成 26 年 8 月に、神戸市外国語大学が平成 28 年世界大会の主催大学として正式に決定しました。

2. 大会の概要

(1) 日程

平成 28 年 11 月 20 日（日曜）～26 日（土曜）

※視察 2 日間を含む。詳細は別紙。

(2) 大会の特徴

- ・世界各国から約 350 名の学生が参加（北米・南米、ヨーロッパ、アジア、アフリカ）
- ・単一大学もしくはコンソーシアムで参加し、6 名前後でチームを組み 2～4 の委員会に参加
- ・大会の公用語は英語（討議等は全て英語で実施）
- ・「国連総会」「安全保障理事会」「経済社会理事会」「国連難民高等弁務官事務所」の 4 委員会を設置し、実際の国連ルールに従って討議・採決を実施

(3) 神戸市外国語大学の取り組み

- ・大会全体の企画・運営の中心は神戸市外国語大学の学生（NCGA（全米学生会議連盟）が協力）
- ・ホスト大学として、大会事務局及び 4 つの委員会の議長役を担うとともに、「大学コンソーシアムひょうご神戸*1」及び「全国外大連合*2」の加盟大学から選抜された学生とチームを組んで外交団としても参加。このほか、「JMUN（日本模擬国連）*3」チームにも神戸市外大生が参加。（日本からは 16 大学 11 チーム・62 名（うち神戸市外大 25 名）の参加を予定）

*1 神戸大学、兵庫県立大学、関西学院大学

*2 名古屋外国語大学、京都外国語大学

*3 東京大学、京都大学、大阪大学、慶応大学ほか

3. 神戸市外国語大学及び神戸市の魅力発信の取り組み

項目	日時	内容	発信内容
神戸市内視察	20日(日)	人と防災未来センター、 灘の酒造記念館(菊正宗、 浜福鶴)、外国人墓地等 訪問 ※オプション	神戸市外大の学生が小グループ を引率し神戸の震災の経験を説 明。酒造記念館訪問で日本最大の 清酒生産地の神戸をPR。外国人墓 地で、国際都市神戸の開港以来の 歴史をPR。
国連フォーラム	23日(水・祝) 10時~12時	パネルディスカッション による減災の重要性に関 する議論。 傍聴可能	大震災を経験した神戸・日本の減 災への取り組みを発信
開会式	23日(水・祝) 14時半~15時半	神戸市外大の学生が事務 総長役で挨拶 神戸市長の歓迎挨拶 開会式全体の傍聴可能	神戸市外大の学生の国際的なコ ミュニケーション能力と神戸市 の魅力を通じた発信
教授陣ジャズ・ ナイト	25日(金) 19時~21時	ジャズレストラン 「ソネ」でジャズ鑑賞	日本でのジャズ発祥の地である 神戸のPRを兼ね、各大学チーム の引率教授陣を招待
経済社会理事会 討議	26日(土) 9時半~12時	「経済社会理事会」を市会 本会議場で開催。委員会の 議長は神戸市外大の学生 で、冒頭の市会議長の挨拶 の通訳と議事進行を担う	約100人の参加者に神戸市会の議 場を公開することにより、神戸で の記憶が強まるとともに、傍聴者 に対し神戸市・神戸市外大の国際 性を発信
委員会討議	23日(水・祝) ~26日(土)	模擬国連活動に関わって いる他大学学生や高校生 を対象とした委員会視察 ツアーを実施	大会の視察を通じて世界の大学 生の中で奮闘する神戸市外大の 学生のパフォーマンスを視察
昼食、夕食	23日(水・祝) ~26日(土)	神戸市外大の学生が三宮 周辺に参加者を案内、食事 をとる	神戸市外大生がレストランへの 案内と、食事中の会話で神戸の魅 力を紹介
閉会式	26日(土)	神戸の学生によるアトラ クション 神戸市外大生による各委 員会の総括 閉会式全体の傍聴可能	学生のパフォーマンスを通じた 神戸の文化的魅力、神戸市外大生 のグローバル・コミュニケーション 力の発信
大会公式 パンフレット	20日(日) ~26日(土)	全参加者に配布	表紙に神戸の写真掲載 神戸市外大のPRページ有

【参考資料】

1. 模擬国連世界大会とは

模擬国連とは、実際の国際連合の会議をシミュレーションする教育活動で、参加者は原則として自国以外の外交団の役割を担い、その国の利害を代弁して関係国外交団との交渉・議論を行い、問題解決への合意形成を図る。こうしたプロセスを通じて、次代を担う若い世代の参加者に、実際の国際問題や国連システムについての理解を促し、国際的な連帯を深めることを目指す。

世界中で開催されている模擬国連の中で世界最大規模の大会が、NMUN (National Model United Nations) 大会で、毎年春にはニューヨークで実際の国連本部施設を使用して約6,000人規模の大会を開催し、秋には世界各地の大学をホスト大学として世界大会を開催している。2016年大会は、開催を希望する各国の大学の中から神戸市外国語大学が選ばれた。主催団体はNCCA (全米学生会議連盟) で、国連本部の全面的な支援を受けて活動を行っている。

2. 全体日程

日程	内容	会場
2016(平成28)年 11月20日(日)	神戸入り・登録 神戸市内視察	登録: 神戸ポートピアホテル 人と防災未来センター等
11月21日(月)	文化視察(京都、広島) ※2グループに分け交互に視察	京都: (世界文化遺産社寺等) 清水寺、金閣寺、伏見稲荷大社
11月22日(火)	文化視察(京都、広島)	広島: 平和記念資料館、原爆ドーム等
11月23日(水・祝)	午前 国連フォーラム 午後 開会式、会議1日目	神戸市外国語大学
11月24日(木)	会議2日目	神戸国際会議場
11月25日(金)	会議3日目	神戸国際会議場
11月26日(土)	午前 会議4日目 午後 閉会式	神戸国際会議場(3委員会) 神戸市会本会議場(経済社会理事会) 神戸国際会議場

3. 公開プログラム

(1) 国連フォーラム

日時: 11月23日(水・祝) 10時~12時

場所: 神戸市外国語大学 大ホール

主な内容:

講演「日本と国連の60年」(根本かおる 国連広報センター所長)

パネルディスカッション「防災・減災の主流化に向けて: 日本と世界の視点から」

・松岡由季(国連国際防災戦略事務局(UNISDR)駐日事務所代表): 全体進行

- ・河田恵昭(よしあき) (人と防災未来センター所長)
- ・竹谷公男 (国際協力機構(JICA) 上席国際協力専門員)
- ・サンドラ・ウー (UNISDR 民間セクター諮問委員)

(2) 開会式

日 時 : 11月23日(水・祝) 14時30分~15時30分

場 所 : 神戸市外国語大学大ホール

主な内容 :

祝辞(神戸市長)

基調講演(吉川元偉(もとひで) 前国連日本代表部特命全権大使)

(3) 経済社会理事会

日 時 : 11月26日(土) 9時30分~12時

場 所 : 神戸市会本会議場

主な内容 :

祝辞(神戸市会議長)

「経済社会理事会」討議・採決(同時通訳システムによる日本語解説あり)

(4) 閉会式

日 時 : 11月26日(土) 15時~16時30分

場 所 : 神戸国際会議場メインホール

主な内容 :

各委員会の討議結果の報告、優秀チーム表彰式

特別講演(星野俊也(としや) 大阪大学大学院国際公共政策研究科教授)

※(3)は広報紙 KOBE で募集、(1)、(2)、(4)は大学 HP で募集予定

4. 主催・後援・協賛団体等

- (1) 主催: 神戸市外国語大学、全米学生会議連盟(NCCA)
- (2) 後援: 内閣府、外務省、文部科学省、神戸市、兵庫県
日本国際連合協会兵庫県本部、(公財)神戸国際協力交流センター
(公財)兵庫県国際交流協会、朝日新聞神戸総局、神戸新聞社、産経新聞社
日本経済新聞神戸支社、毎日新聞神戸支局、読売新聞神戸総局
NHK神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西、Kiss FM KOBE
- (3) 協力: 国際連合広報センター、国連国際防災戦略事務局駐日事務所
- (4) 協賛: (一財)神戸国際観光コンベンション協会、(公財)中内カコンベンション振興財団
(公信)兵庫県婦人会館ユネスコ基金、麒麟ビバレッジ(株) ほか

5. 模擬国連世界大会の開催実績

- | | |
|--------------|------------|
| 2008年(平成20年) | 西安(中国) |
| 2010年(平成22年) | オロモウツ(チェコ) |
| 2012年(平成24年) | リール(フランス) |
| 2013年(平成25年) | インチョン(韓国) |
| 2014年(平成26年) | ローマ(イタリア) |
| 2015年(平成27年) | オロモウツ(チェコ) |
| 2016年(平成28年) | 神戸(日本) |